

神戸市議員

かわなみ

河南

“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わるトピックをお伝えします!

2019年
春号

ただかすの

市政報告

1967年(昭和42年)1月17日生まれ(震災の日)
生田中・神戸高・早稲田大学卒業後、丸紅に入社し、
フランス・スウェーデン・セネガル・ガーナに駐在。
家具インテリア業、さらにISOと輸入のコンサルティ
ング業務に携わる。神戸市議員、現在2期目。

自民党

みなさん!
こんにちは!

平成31年度予算の審議で、河南ただかすは、教育委員会と市民参画推進局への質問を担当しました。「学び」や「集い」は、これからの社会で大変重要な役割を担うと考えます。住みやすい街、神戸を目指し、質問しました。

今回のテーマは「学び」と「集い」! 神戸で快適にお過ごしてできるよう、様々な取り組みが行われているんです!!

教育委員会に質問!

学び
について

content

- 1 こうべ小学校の過密化
- 2 外国人子弟への日本語教育
- 3 教員の多忙化対策
- 4 新三宮図書館

市民参画推進局に質問!

集い
について

content

- 5 葺合文化センター、生田文化会館跡地利用
- 6 磯上公園・体育館機能
- 7 新・文化ホール
- 8 音楽で活性 旧居留地



1 こうべ小学校の過密化について

平成31年2月28日 予算特別委員会(第1分科会)にて質問、要望しました。

河南より
質問

こうべ小学校の過密化についての進捗は?

長田教育長からの回答

平成36年度以降は教室不足になると見込んでいる。暫定校舎の建築や校舎の増改築等について、検討していきたい。運動場を現状のまま確保するとすれば、運動場南側の一段下がった学習園用地を活用することが考えられ、その場合には、法面の造成工事が必要となる。

河南より
質問

現在南側に建っている仮校舎の今後や、学習園用地の南側の法面に何かをという考えも進めるべきだと思うがいっそのこと、現在「北野工房のまち」となっている旧北野小学校をあえて新たな学校には出来ないものか?

横山学校計画担当部長からの回答

「北野工房のまち」は、年間100万人以上が来館する市内でも有数の観光施設となっており、観光バス駐車場としても機能している。また、この場所では運動場の面積がかなり狭くなってしまうということで、小学校としての活用は難しいと考えている。新たな適地の確保については、引き続き検討していくが、まずはこうべ小学校の中で検討していきたい。

河南より
要望

過去には小学校があった場所である。過密化を解消していこうと考えたら、それに対するアプローチを色々考えていかなければならないのでは?若年世代が住まいを選ぶのに、保育や教育の受け入れ体制が充実しているか?という点は非常に大切だと思う。「北野工房のまち」に小学校を戻したら良いのでは?と提案をしたところ、経済観光局が神戸の賑わいに資しているから難しいでは終わらず、抜本的に発想を変えていくことも必要ではないかと思っている。

こうべ小学校の過密化のために本当に解決しなければならないことをしっかり考えていただいて、駄目な理由ではなくて、出来る理由を最大限考えていただきたいと思います。

こうべ小学校



現在の仮校舎



学習園用地



旧北野小学校(今の北野工房)



2 外国人子弟への日本語教育について

■平成31年2月28日 予算特別委員会(第1分科会)にて質問、要望しました。



河南より質問

外国人子弟への日本語教育について、ICT(*)を活用した遠隔教育の導入をはじめ、新しい仕組みを広い視野で検討していくことが必要ではないか？

交通局 岸田局長からの回答

多言語に対応できる人材を確保することが今後の重要課題となっている。当面の間、子ども多文化共生サポーターの派遣をはじめとする支援制度により、一人ひとりに寄り添った生活適応や学習支援に取り組むとともに、スーパーシティ構想(*)をはじめ、国の動向についても注視しながら、引き続き、日本語教育の指導に取り組んでいきたい。

教育現場におけるICTとは？

PCやタブレットなどを用いて授業をより楽しく、わかりやすくすること。将来的には、遠隔地や海外の学校と通信を使って交流したり、クラウドを利用して学校に来られない生徒が家で学習したりする仕組みも考えられています。

スーパーシティ構想とは？

AI(人工知能)やビッグデータなどを活用した最先端都市、新しいまちづくりをめざす国家戦略特区制度。

かなわみ河南の視点!

抜本的に解決していかないといけないことは、“神戸に多言語の先生がいない”ということ。寄り添うがために特殊言語がわかる先生を神戸の中で探しているから起きている問題。

ICT化であれば、東京在住や、本国にいる日本語とバイリンガルの先生にお手伝いいただく等、もっとやり方が出てくると思う。ICT化で、仕組みができればスーパーシティ構想でも言われているような、遠隔医療のことも使えるかもしれない。教育委員会のことだけで考えていくのではなく、仕組みを考え、他の分野にも応用できるものをつくるという議論を深めていくべきでないかと思う。

河南より要望

2018年の12月に出入国管理法の改正が成立し、政府の方針では「2025年まで50万人超の外国人労働者の受入を目指す」と、外国人受入れ拡大を目指す方針に舵を切っている。これが順調に推移すると神戸の外国人の教育問題も今よりもっと大きくなっていくと思う。国が旗をふっているスーパーシティ構想に解決策として持っていくなり、ぜひICTを利用して解決していただきたい。

3 教員の多忙化対策について

■平成31年2月28日 予算特別委員会(第1分科会)にて質問、要望しました。



河南より質問

「教員でなくてもできること」は教員以外の人材に任せることで、教員が教育に専念し、多忙化対策につなげていくことが望ましいと考えるか？

浜本総務部長からの回答

学校に配置されている学校事務職員の、これまで以上の学校運営の参画を図っていきたくと考えている。学校業務の峻別と役割分担だが、取組状況に一部差があることから、**学校まかせにせず、基準や指針を示して徹底をはかっていきたい**。ご指摘の点を十分に踏まえ、実効性のある取り組みを進めていきたい。

河南より要望

常々思うが、会社、組織、社会を見ると営業、経理、総務、企画部門などと分野に分けて組織が成り立っている。教員の組織は先生に全部押し付けてしまっ**て今までの多忙化にあたっているもの**だと思う。一度仕事内容をプレイクダウンして本当に先生が行うべきものと行わなくて良いもの、を見定めていくという作業が必要だと思っている。

昨年12月の一般質問で、「フッ化物洗口」はどうかと質問したところ、教員の多忙化ということでご理解いただけなかったが、私は教職員がやることではなくて、例えば事務の方が朝ちょっと手伝ってあげるなどすれば、取り組んでいけるのではないかと今でも思っている。何ができて、何をやるべきかを今一度精査していただき、今回の働き方推進プランに落とし込んでいただきたい。

4 新三宮図書館について

■平成31年2月28日 予算特別委員会(第1分科会)にて質問、要望しました。

河南より質問

新三宮図書館はどのようなコンセプト・機能を予定しているのか？

浜本総務部長からの回答

以下6つをあげている。

コンセプト機能

- ★神戸の玄関口・三宮に、美しく快適な読書空間を作る
- ★デジタルメディアなど最新のICT技術を活用した新たなサービスの提供にチャレンジする
- ★神戸の歴史と文化、魅力を紹介し、神戸の再発見につなげる
- ★障害者、高齢者、幼い子供連れの方、外国人など多様な人々のアクセシビリティへ配慮する
- ★利用者を、中央図書館、博物館、文書館などの専門機関等につなげる
- ★文化ホールやバスターミナルに近い環境を生かし、新たな利用者層を掘り起こし、街のにぎわい創出や回遊性向上の一助となる

また、利用者の多くが要望する心地よい読書空間となるためには、**市で平成25年に建設された東灘図書館と同程度の規模(約1,500㎡)が必要**と考えている。引き続き、議会、関係者、市民のご意見を伺いながら検討を深めていきたい。

河南より要望

これからの時代、公の施設の旧来型機能はネット対応でどんどん不要になってくると思う。その分、人とのつながりや、文化などが大事になってくると思う。例えば、デジタルデータの活用で古い本などにもアプローチできる機能を是非やっていただきたい。またKIITOに仮移転があるならば、場所が変わることで、**色々な情報や試みも出来る**と思うので、新三宮図書館がよりよくなるように努力をお願いしたい。



5 葺合文化センター、生田文化会館跡地について

平成31年2月26日 予算特別委員会(市民参画推進局)にて質問、要望しました。

河南より
質問

葺合文化センター跡地活用について、進捗と今後の方針は？

岡田局長からの回答

地域住民が利用しやすい施設整備をするには、すでに更地となっている本館跡地だけではなく、**大ホールの跡地も含めた検討が必要だ**と考えている。

河南より
質問

現在、大ホールがまだ活用されている状況で、タイムスケジュールは？

岡田局長からの回答

待機児童問題を考えると、**旗塚こども園は早急に整備すべきと考えている**。雲中地域福祉センターと児童館については、大ホール跡地の場所で建替えできるように検討しているが、旗塚こども園と比べて少しタイムラグが生じるのはご理解いただきたい。

河南より
質問

生田文化会館の状況は？

岡田局長からの回答

このエリアの再整備については、県市が連携をとって検討していく必要があると考えている。**県庁周辺の再整備の検討スケジュールが想定より遅れており、具体的な計画も示されていない**。県の窓口に意見を申し上げ、協議を進めていきたい。ふれあいのまちづくり事業に支障が出ないように、山手地域福祉センターの確保に努めてまいりたい。

河南より
質問

主導権が県にあるイメージだ。神戸市が県を引っ張っていくぐらいのイメージで進めていただきたい。地域住民の方々からは、体育室を残して欲しいという要望があるが？

岡田局長からの回答

現在、体育室利用の約半分が卓球であり、移転先の確保と卓球などが出来るスペースの確保も検討していきたい。



河南より
質問

移転・建替え後の建物のイメージは？

岡田局長からの回答

旗塚こども園は単独での整備が良いかと考えている。雲中地域福祉センターと児童館は同じ建物でも別々でも構わないと思うが、建物設計の中で考えていく。

河南より
要望

地域の公の施設で、**人が集う機能、つまりカルチャーセンターや、体育室の機能は今後大変重要になってくると思っている**。

学べる、体を動かせる、地域のコミュニティを維持するための場を三宮に集中だけではなく、地域に残して、むしろ強化するぐらいの気持ちで跡地利用を進めていただきたい。

また、人が集まる機能は、同時に**防災面でも地域の方の役に立つと考えている**。

震災や有事の際に避難する方の受け入れ拠点としての機能もぜひ検討いただきたい。

6 磯上公園に建設される体育館・体育室機能について

平成31年2月26日 予算特別委員会(市民参画推進局)にて質問、要望しました。

河南より
質問

磯上公園に建設される体育館・体育室機能とはどのようなものか？
何階建てで、イメージは？

岡田局長からの回答

平成33年度(2021年度)中の完成を目指して、以下スケジュールにて現在調整中。

平成31年度 基本設計実施設計
平成32年度 着工、建設工事に着手
(2021年度)
平成34年度 供用開始
(2022年度)

丹本部長からの回答

建設位置については、磯上公園内の利用関係者と調整中。面積や階層等についても検討段階で、**平成31年度の基本設計を進めていく中で固めていきたい**。利用ニーズをしっかりと捉えて、最大限努力していきたい。

《平成29年度の利用実績》勤労会館の体育館 利用率99%、生田文化会館の体育館 利用率96.5%両施設とも卓球、バドミントン、バレーボールの3種目で全体の7割を超えている。

河南より
質問

新中央区総合庁舎整備基本計画において「**磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて整備検討を進める**」とあるが、進捗状況は？

岡田局長からの回答

関係団体との調整は先方と具体的に協議を深めていけるよう、取り組んでいるところである。

河南より
要望

「外国人のスポーツ交流施設」とはKRACのことだと思うが、KRACは日本で有数の西洋スポーツの殿堂であり、ラグビーやテニス、バスケットボール、レガッタ競技などからスタートしたクラブである。そのような**歴史あるスポーツクラブと共同で、新たな市民の体育施設ができるというのは大変意味のあることだ**と思っている。KRACは1870年に当時の居留地に創設され、1923年の関東大震災で横浜からの被災者を受け入れたという歴史があるようだ。**この新たな体育館・体育施設も、三宮で震災が起きたとき、一時避難場所としての機能も盛り込んで、神戸市として横串で検討して欲しい**。

磯上公園



KRAC

外国人の
スポーツ交流
施設

KRACテニスコート



7 文化ホールの移転について

■平成31年2月26日 予算特別委員会(市民参画推進局)にて質問、要望しました。

河南より
質問

平成31年2月25日に第5回新神戸文化ホール整備基本計画検討委員会が開催され、基本計画案の提示があったと聞いている。どのような考え方で進められているのか？今後の予定は？

岡田局長からの回答

市民の皆様や市会、ホール利用者からのご意見等を数多くいただき、検討委員会等で議論を続けてきた。その結果、以下の配置計画案を検討委員会で賛同いただいたことである。

- バスターミナルI期に大ホール
- 市役所2号館跡地に音楽ホール
- バスターミナルII期に多目的ホール(舞台芸術利用にも対応)

今後、基本計画案を策定し、3月には市会にも報告したい。その上でパブリックコメントを実施し、計画としてまとめていきたい。

河南より
質問

近隣のホールに負けないものにしていただきたいが、新たな文化ホールの特徴、特色は？

宮道部長からの回答

機能面において、最新の舞台装置、優れた音響整備を取り入れていくのはもちろんのこと、**建物全体のシンボル性や外観デザインの質の高さにも留意。**

各ホールの内容や客席は、優れた舞台芸術や音楽を鑑賞するためにふさわしい、かつ神戸らしさを醸し出すことに加えて、ホールまでの導線等も含めて、**非日常的な空間として**作っていくために、仕掛け作りを考えていきたい。

音楽
ホール

多目的
ホール



河南より
要望

東京都文京区のシビックホールを視察した。単体ではなく、公共機関と同じ建屋の中に設置されているホールである。その中で「人の導線」のことを言っていた。これから演劇を見にいこうと胸が高鳴っている人と、普段日常で出入りする人が、**エントランス付近で混在してしまうのが問題である**という認識だった。

新・神戸文化ホールにも同じ問題が生じる可能性がある。ホール利用者とそれ以外を上手に分けて動線の配慮ができるように、検討いただきたい。

また、基本計画に防災面の考え方が全く書かれていなかった。例えば三宮で帰宅難民が起きたときに、一時避難所として受け入れるといった運用も、やはり考えておく必要があるのではないか。

これも要望したい。

8 音楽の力を利用した旧居留地の活性化について

■平成31年2月26日 予算特別委員会(市民参画推進局)にて質問、要望しました。

河南より
質問

神戸の雰囲気味わえる建物が並ぶ旧居留地は、市民や国内外からの観光客にもっと訪れてもらえるように、**音楽の力を使って活性化できないか？「音楽のまち神戸」と「まちの活性化」を同時に達成できると考えるか？**

例 小学校から高校生までを中心に毎月屋外コンサートを開催するなど「学生の音楽の聖地」をつくれれば、生徒の家族も集り、三宮・元町での買い物や食事をしたり賑わいが生まれるのでは？



岡田局長からの回答

私自身も同感。一昨年の神戸国際フルート音楽祭の中で300人のアンサンブルなどは、まさに旧居留地にふさわしい事業だったと感じている。

実は、旧居留地協議会等でも事業(街角コンサート、写真展、歩行者天国で飲食、ライブなどを楽しめるマーケットなどの開催)を行っている。我々としても、「**音楽のまち神戸**」について取り組んでおり、その中の「**KOBE MUSIC STAGE**」でも、こうしたイベントにあわせて、ジャズやフルートのライブを実施し、まちのにぎわいと魅力の創出に取り組んでいる。今後もさらに協力し、旧居留地で身近に音楽に触れて楽しんでいただけるよう、**年間切れ目なく努めていきたいと考えている。**

河南より
要望

音楽を発表する場があるのは学生さんの励みになります。また、ご家族以外の買い物客や観光客の方にも聴いてもらえるのは演奏者として感情もすごく盛り上がると思う。また、演奏を聴きにきた家族みんなで食事を楽しんだり、「よく頑張ったね」とおじいさん、おばあさんが帰りにご褒美を買ってくれることもあるかもしれません。

そうした街の活性化に結びつけるために、旧居留地エリアは絶好のスポット。毎週土・日には何か催しがある、音楽イベントがある、というイメージづけも大切だと思うので、取り込みを強化し、音楽の力でまちの賑わいを作りたいです。



神戸市政報告



編集・発行:自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
灘区

吉田 健吾



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部卒業(在学中は野球部で活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社コーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選～経済港湾委員会副委員長～福祉環境委員会副委員長●家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会・都賀だんじり保存会・神戸楽生会・灘納税協会青年部会・神戸青年会議所

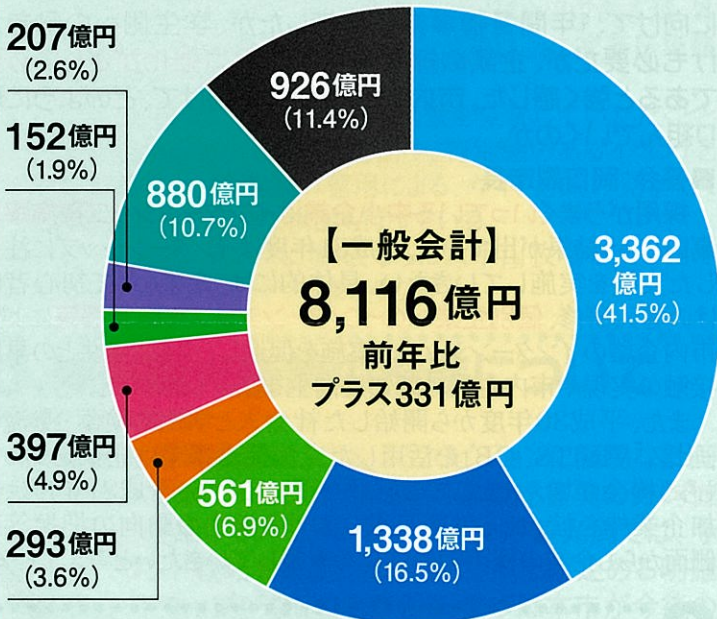
神戸市の予算

予算総額 1兆7,999億円

(前年比 プラス433億円)



- 一般会計:8,116億円(前年比+331億円)
- 企業会計:3,081億円(前年比-95億円)
- 特別会計:6,802億円(前年比+198億円)



- 子ども・お年寄りなどの福祉に
- 教育・文化に
- 環境・衛生に
- 住宅・まちづくりに
- 道路・交通に
- 産業の振興に
- 消防・救急に
- 区役所などの運営に
- 市債の返済に

平成31年度予算6つの柱

- 輝く子どもたちの未来を創る
- 健康・安全を守る
- 街と地域を創る
- 神戸経済を伸ばす
- 陸・海・空の拠点を創る
- 市政改革を進める

ごあいさつ

MESSAGE

春暖の候、本格的な春がやってきました。皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成31年第1回定例会市会が開催され、平成31年度予算案に対する審議がされました。私は会派を代表し本会議で、「2020神戸ビジョン」「六甲山・摩耶山の活性化」「観光施策」「教育環境」について質問しました。

質疑内容について、中面に「議事録抜粋」を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

これからも皆様の声をお伺いし、市政に反映させられるよう努力してまいります。

神戸市会議員 吉田健吾

灘区のイベントとお知らせ INFORMATION

第26回 **なだ桜まつり**
 3月30日(土) 10:00~15:00
 都賀川公園・灘区民ホール

模擬店や地域の皆さんによるダンスや太鼓など、イベントが盛りだくさんです。 ※駐車場はありません。小雨決行、荒天中止

選挙に行こう!

カウントダウンホームページを開設します

4月7日(日)は神戸市会議員・兵庫県議会議員選挙投票日です。灘区では投票日当日までのカウントダウンホームページを期間限定で開設します。

灘区内3大学の学園祭で「I vote.」(私は投票する)宣言された方の写真がカウントダウン時計として登場します。

- 開設予定期間:3月7日(木)~4月7日(日)
- ホームページ:<https://ivote.city.kobe.lg.jp>





平成31年2月18日 議事録抜粋

平成31年度第1回定例市会 本会議で平成31年度 予算案について 代表質問を行いました。

1. 2020ビジョンの目標への 今後の対応について

(1)待機児童対策について

■質問：吉田健吾

若者に選ばれるまちとして待機児童対策は必要不可欠です。特に3歳になる小規模保育園卒園児の受け皿について懸念しています。2020年までの待機児童解消に向けて、どのように取り組んでいくのか、またそのためにはさらなる公有地の活用が必要不可欠と考えますが、公園の一角を活用する手法や市役所・区役所等の活用を含め、あらゆる手段を尽くすべきと考えます。ご見解をおうかがいします。

■答弁：久元市長

ご指摘のとおり、小規模保育事業につきましては、3歳児になる卒園児の受け皿が課題です。平成31年度予算では、3歳以上を対象とするパーク&ライド型保育所の整備や保育送迎ステーションの設置を予定しております。今後とも、幼稚園から認定こども園への移行や保育所の新增設などにより、3歳以降の受け皿の確保に全力で取り組んでいきたいと思っております。

また、市役所・区役所・公園などの活用につきましてもご指摘をいただきました。平成31年度予算では、須磨区役所庁舎2階に設置する地域子育て支援拠点と合わせて、小規模保育施設を整備する予定としています。2号館の建て替えでも検討をしていきたい。

公有地を活用し、保育施設を整備するというのは重要な視点でありますので、あらゆる手段を尽くしたいと考えております。

(2)多子家庭支援について

■質問：吉田健吾

子育て世帯を呼び込み、出生数を確保するためには、現行のこども医療費や保育料等の負担軽減に留まらず、多子世

帯への子育て応援金の支給や税制優遇措置など、多子世帯ほど優遇される施策を検討し、出生数増加に寄与するための、さらに踏み込んだ経済的支援が必要であると考えますが、ご見解をおうかがいいたします。

■答弁：久元市長

平成28年3月に「神戸2020ビジョン」を策定し、「年間1万2000人の出生数の維持」を目標に掲げ、子育て世代をターゲットとして、経済的負担の軽減はもとより、子育て支援施策を市政の最重要課題として取り組んでまいりましたが、平成29年度本市の出生数は1万1565人と目標を下回っているということは事実です。このような状況を見ますと、やはり子育て世帯に対する支援をしっかりとしていかなければいけないという認識を持ちます。

ご指摘をいただきました多子世帯に対しましても、これまで、第3子以降の子の保育料の無償化や児童手当の加算、シティハイツの家賃減免などの施策を実施・推進をしてきています。

他都市では、一時給付金の支給など、個人給付に関する施策を行っているところですが、その効果が多子世帯の子どもに関する支出にはたして結びついていくのか、また、さらなる出生数の増加に繋がっていくのかという費用対効果の見極めも重要であろうかと考えているところであります。

現在行っている施策に留まることなく、ご指摘も踏まえながら、さらなる検討を行っていきたくと考えております。

(2)市内就職の促進について

■質問：吉田健吾

先日も新聞に神戸市が政令指定都市で転出超過ワーストという見出しが掲載されていた。非常に不名誉な記事だ。

本市も学生向けの就職説明会や市内中小企業の採用力強化に繋がるセミナーなどを実施しているが、東京圏への流出という構造を打破するには至っていない。

私自身神戸青年会議所の一員として若者流出問題解決に向けて、1年間各種事業を実施したが、学生側への働きかけも必要だが、企業の採用意欲と採用力強化がさらに必要であると強く感じた。市内就職の促進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

■答弁：岡口副市長

採用がうまくいっている中小企業はインターンシップ実施率が高いという結果が出ている。平成31年度はインターンシップに注目した支援を実施していきたい。具体的には、企業として初心者向けの導入研修、個別企業へのインターンシップ実施支援等により、市内企業のインターンシップの実施を促進し、企業と学生との早期接触の実現や市内企業の認知度向上を図ってまいりたい。

また、平成30年度から開始した社会人と学生の検索・交流サービス「VISITS OB」を活用した交流促進事業は企業を知ってもらう機会が増えたとご好評を頂いている。平成31年度は参加企業枠を拡大し、就職活動における学生の動向の把握等の側面からも企業の採用力の強化を支援していきたいと考えている。

2. 六甲山・摩耶山の活性化について

■質問：吉田健吾

六甲山上の通信環境の整備については、多額の公費投入

が必要であることなどから、未だに脆弱な通信環境であり、定住人口の増加や外国IT企業、首都圏からの企業進出のネックになっているのではないかと。

財源の確保は当然のことであるが、六甲山の活性化を強力に進めるためにも、一刻も早い通信環境の整備に取り組むべきではないかと、見解を伺いたい。

■答弁：久元市長

六甲山における通信環境についてはご指摘のとおり、極めて劣悪な状況である。そこで、通信環境の早期改善に向け、光ケーブルの敷設に向けた必要な調査を平成31年度に実施し、2020年度には光ケーブルによる通信環境の改善を実現したい。

敷設にあたっては多額の経費を要することもあり、企業版ふるさと納税の活用を図るなど財源の確保に努めてまいりたい。通信環境が改善されることにより、六甲山を訪れる観光客にとってもWi-Fiの整備やキャッシュレス化が進む等、利便性の向上が期待できる。あるいは自然の中で働くという新たな価値を創造し、特に都市型創造産業に資するようなオフィスの進出を促すことにより、六甲山の魅力の向上、活性化を図ってまいりたい。

■再質問：吉田健吾

通信環境だけでなく、行ききかけとなる魅力的なコンテンツが求められる中、来年度、六甲山牧場において但馬牛を飼育し、一般の来場者に自由に見学していただく予定であると聞か、より魅力的なコンテンツにするためにも、神戸ビーフをしっかりと食べることができる施設も検討すべきではないかと、また、夜景ともしっかりとセットで売っていただきたいと考えるが、見解をうかがいたい。

■答弁：久元市長

現在ご審議いただいている平成31年度予算の中に、六甲山牧場の整備、特に、神戸ビーフを楽しんでいただけるような整備ができないかという予算を盛り込んでいる。

但馬牛は観光面においても魅力的なコンテンツであるが、外国人観光客への対応等を考えると、これまで以上に家畜伝染病予防対策が重要である。

その上で、来場者に遠景から放牧風景を見学していただくとともに、パネル展示などによる情報提供や、特別感のあるイベントとして事前予約の上、防護服の着用による、ガイド方式の見学セミナーを開催するというような検討も行っている。

神戸ビーフをコンテンツに加え、さらに六甲山牧場を楽しんでいただけるような対応を行ってまいりたい。

3. 神戸観光施策の推進について

■質問：吉田健吾

本市の観光振興計画としては、2020ビジョンに簡易な計画を掲げるのみであり、市として目指すべき観光振興の方向性が明確でないと感じている。DMOである神戸観光局では、今年度インバウンド戦略を策定しているが、本市が定める明確な指針やロードマップがないことから、まずは本市が今後の方向性を示したうえで観光振興計画を策定すべきではないかと。

その上で、神戸観光局と連携を図り、今後の観光施策を展開していくべきかと考えるが、本市と神戸観光局の役割につ

いてうかがいたい。

■答弁：岡口副市長

現在、市と神戸観光局では、特に重点課題であるインバウンド誘致強化に取り組んでおり、2020年の外国人観光客数200万人という目標を設定した。

例えば、六甲山・摩耶山の活性化については、共通の課題解決に向けて、神戸市は、光ケーブルによる通信環境整備や市街地からのアクセス改善といったインフラ整備を中心とし、また神戸観光局は、観光事業者と連携したコンテンツ開発やそのプロモーションを行うというように、市と神戸観光局がお互いの役割を果たしながら、一体となって観光施策を実行している。

本年9月のラグビーワールドカップの開催に始まるゴールデンズポーツイヤーズの到来や、2025年の大阪・関西万博の開催決定といった状況を踏まえ、役割分担をしながら、しっかりと協力・連携して実行していくことが重要であると考えている。

4. 子どもたちの教育環境について

■質問：吉田健吾

学習指導要領に伴い、2020年から小学校におけるプログラミング教育が必須化されるなど、今後のAI等の革新的技術が普及する時代を生き抜くために、教育現場におけるICT環境の充実が一層求められている。

来年度予算案では、電子黒板の導入や教室内の無線LANの整備等が盛り込まれており、今後ICT環境の整備が加速化されることを期待しているが、国が示す新学習指導要領に即した十分な整備が進められる計画となっているか、ご見解をおうかがいします。

■答弁：長田教育長

平成28年度からICT活用重点推進校を3校、小学校で2校、中学校で1校指定をして、国の整備目標と同等の機器として、電子黒板や無線LANを整備し、その効果を検証してきた。

検証の結果、やはり児童生徒の学力向上につながる効果が認められたということ、これに加えて、また、教員の多忙化対策としての効果も認められたところであり、私どもとしてもICT学習環境の整備計画を策定したいというふうに現在考えている。

本市の学校のICT環境の整備ということについては、他都市に比べておけている面があることは否めないというふうに認識しており、今回の整備効果も十分見きわめながら、一層のICT環境の整備に向けて、引き続き検討を進めてまいりたいと考えている。

■要望：吉田健吾

例えば、弱視のお子さんが先生の電子黒板をそのままネットワークから自分のタブレットに映して、リアルタイムで確認することができたりということで、教育環境の幅も広がってくる。今後の可能性を十分にご理解いただいで進めていただきたい。



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができます場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まり1時間前から先着順で受付します。



自由民主党神戸市会議員団 神戸市会議員 灘区 吉田健吾

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会

局別
審査危機管理室、経済観光局、みなと総局
に対し局別審査を行いました

予算特別委員会で「神戸市当初予算案及び関連議案」について審議が行われますが、詳細については、この「局別審査」で各局ごとに集中的に質問し、審査を行います。吉田健吾は「危機管理室」「経済観光局」「みなと総局」に対して質問しました。

危機管理室

2月21日

■ 青色防犯パトロール講習会について

Q. 講習会を区役所などで機動的に開催してほしいという切実な願いである。

A. 今後、県警と話し合いをしながら、広く受講ができる環境を考えていきたい。

■ 防犯カメラの申請期間について

Q. 申請期間外でも受け付けたり、緊急的な対応をしたりすることは考えられないか。

A. 申請期間外でも設置できるように、補助金要綱の改正をするなどの準備をしている。

■ 防犯カメラが設置されていない地域について

Q. 防犯カメラが多い地域と少ない地域の差が出てきているのではないかと。

A. 空白地域がある。そういった地域について何らかの対策をしていく必要がある。

■ 国民保護訓練、自衛隊との連携について

Q. 今回の訓練に自衛隊も参加していたが、神戸市と自衛隊との連携状況はどうか。

A. 危機管理実務経験者の自衛隊・警察などのOBを対策員として採用している。

■ 観光危機管理を踏まえた訓練について

Q. クルーズ船の入港を想定した訓練等を行い、PRする必要があるのではないかと。

A. 神戸市観光危機管理マニュアルの策定の中でも十分に対応を議論していきたい。

経済観光局

2月22日

■ 六甲山におけるコンテンツ造成について

Q. ラグビーW杯における欧米豪のインバウンド対策はどうか。

A. 六甲山上を周遊してもらえるオフラインでも使用可能な多言語対応のアプリを開発。

■ 神戸ビーフを活用した六甲山牧場の活性化について

Q. 整備される20頭分の牛舎をフルに活用できる頭数の但馬牛の飼育を期待する。

A. 2021年には20頭、その後30頭まで拡大していきたい。

■ ラグビーワールドカップにおける賑わいづくりについて

Q. 試合終了後も神戸のまちを楽しみたい観客をおもてなしする受け皿が別途必要である。

A. 既存飲食店への誘導や飲食ができるイベント会場的な受け皿の設置を検討している。

■ インバウンド戦略に基づく事業展開について

Q. どのような国、宗教、性別などにどういった戦略でどれだけ伸ばすか考える必要がある。

A. 欧米豪やムスリム市場など、狙いと戦略を立てて対応していく。

みなと総局

2月26日

■ クルーズ船と観光について

Q. 乗客に神戸市内観光により一層目を向けてもらうための取り組みは十分か。

A. 神戸観光局とも協力して素材開発調査を行い、体験型観光プログラムを試験実施していきたい。

■ ウォーターフロント再開発について

Q. 光のショーの実施など、夜間景観の演出について強かに推進していくべき。

A. ナイトタイムエコノミーも意識して、ハード・ソフト両面から取り組みを加速させる。

■ ハーバーハイウェイのETC化について

Q. ETC整備のスケジュール、料金体系はどう検討されているのか。

A. 整備まで3年を要すると考える。料金はこれから検討するが現状は維持していきたい。

子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市議員 吉田健吾事務所

〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456 ●JR「摩耶駅」下車、北東へ徒歩約4分

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
●●●●●●●●
yoshidakengo.jp

神戸市政報告



編集・発行:自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
灘区

吉田 健吾



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部卒業(在学中は野球部に活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社ユーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選～経済港湾委員会副委員長～福祉環境委員会副委員長●家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会・都賀だんじり保存会・神戸楽生会・灘納税協会青年部会・神戸青年会議所

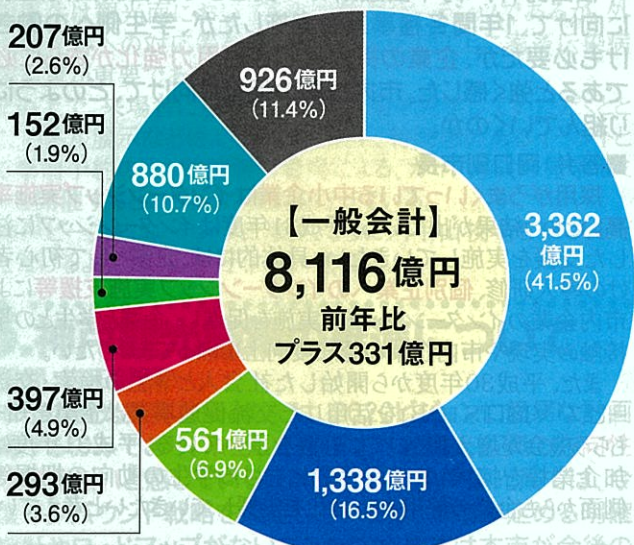
神戸市の 平成31年度 予算

予算総額 1兆7,999億円

(前年比 プラス433億円)



- 一般会計:8,116億円(前年比+331億円)
- 企業会計:3,081億円(前年比-95億円)
- 特別会計:6,802億円(前年比+198億円)



【一般会計】
8,116億円
前年比
プラス331億円

- 子ども・お年寄りなどの福祉に
- 産業の振興に
- 教育・文化に
- 消防・救急に
- 環境・衛生に
- 区役所などの運営に
- 住宅・まちづくりに
- 市債の返済に
- 道路・交通に

平成31年度予算6つの柱

1. 輝く子どもたちの未来を創る
2. 健康・安全を守る
3. 街と地域を創る
4. 神戸経済を伸ばす
5. 陸・海・空の拠点を創る
6. 市政改革を進める

ごあいさつ

MESSAGE

春暖の候、本格的な春がやってきました。皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成31年第1回定例市会が開催され、平成31年度予算案に対する審議がされました。私は会派を代表し本会議で、「2020神戸ビジョン」「六甲山・摩耶山の活性化」「観光施策」「教育環境」について質問しました。

質疑内容について、中面に「議事録抜粋」を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

これからも皆様の声をお伺いし、市政に反映させられるよう努力してまいります。

神戸市会議員 吉田健吾

灘区のイベントとお知らせ INFORMATION

第26回 **なだ桜まつり**
3月30日(土) 10:00~15:00
都賀川公園・灘区民ホール

模擬店や地域の皆さんによるダンスや太鼓など、イベントが盛りだくさんです。 ※駐車場はありません。小雨決行、荒天中止

選挙に行こう!

カウントダウンホームページを開設します

4月7日(日)は神戸市会議員・兵庫県議会議員選挙投票日です。灘区では投票日当日までのカウントダウンホームページを期間限定で開設します。

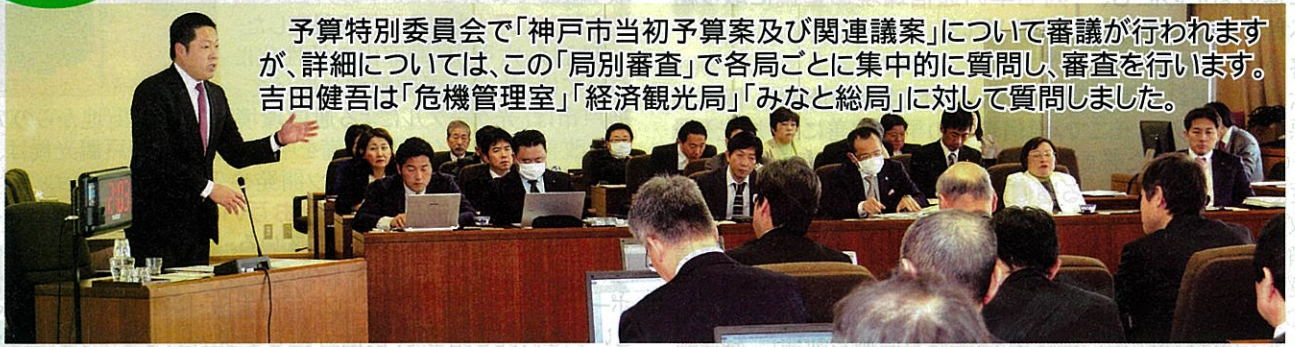
灘区内3大学の学園祭で「I vote.」(私は投票する)宣言された方の写真がカウントダウン時計として登場します。

- 開設予定期間:3月7日(木)~4月7日(日)
- ホームページ:<https://ivote.city.kobe.lg.jp>



局別
審査

危機管理室、経済観光局、みなと総局 に対し局別審査を行いました



予算特別委員会で「神戸市当初予算案及び関連議案」について審議が行われますが、詳細については、この「局別審査」で各局ごとに集中的に質問し、審査を行います。吉田健吾は「危機管理室」「経済観光局」「みなと総局」に対して質問しました。

危機管理室

2月21日

■青色防犯パトロール講習会について

Q.講習会を区役所などで機動的に開催してほしいという切実な願いである。

A.今後、県警と話し合いをしながら、広く受講ができる環境を考えていきたい。

■防犯カメラの申請期間について

Q.申請期間外でも受け付けたり、緊急的な対応をしたりすることは考えられないか。

A.申請期間外でも設置できるように、補助金要綱の改正をするなどの準備をしている。

■防犯カメラが設置されていない地域について

Q.防犯カメラが多い地域と少ない地域の差が出てきているのではないか。

A.空白地域がある。そういった地域について何らかの対策をしていく必要がある。

■国民保護訓練、自衛隊との連携について

Q.今回の訓練に自衛隊も参加していたが、神戸市と自衛隊との連携状況はどうか。

A.危機管理実務経験者の自衛隊・警察などのOBを対策員として採用している。

■観光危機管理を踏まえた訓練について

Q.クルーズ船の入港を想定した訓練等を行い、PRする必要があるのではないか。

A.神戸市観光危機管理マニュアルの策定の中でも十分に対応を議論していきたい。

経済観光局

2月22日

■六甲山におけるコンテンツ造成について

Q.ラグビーW杯における欧米豪のインバウンド 対策はどうするのか。

A.六甲山上を周遊してもらえるオフラインでも 使用可能な多言語対応のアプリを開発。



■神戸ビーフを活用した六甲山牧場の活性化について

Q.整備される20頭分の牛舎をフルに活用できる頭数の但馬牛の飼育を期待する。

A.2021年には20頭、その後30頭まで拡大していきたい。

■ラグビーワールドカップにおける賑わいづくりについて

Q.試合終了後も神戸のまちを楽しみたい観客をおもてなしする受け皿が別途必要である。

A.既存飲食店への誘導や飲食ができるイベント会場的な受け皿の設置を検討している。

■インバウンド戦略に基づく事業展開について

Q.どのような国、宗教、性別などにどういった戦略でどれだけ伸ばすか考える必要がある。

A.欧米豪やムスリム市場など、狙いと戦略を立てて対応していく。

みなと総局

2月26日

■クルーズ船と観光について

Q.乗客に神戸市内観光により一層目を向けてもらうための取り組みは十分か。

A.神戸観光局とも協力して素材開発調査を行い、体験型観光プログラムを試験実施していきたい。

■ウォーターフロント再開発について

Q.光のショーの実施など、夜間景観の演出について強力に推進していくべき。

A.ナイトタイムエコノミーも意識して、ハード・ソフト両面から取り組みを加速させる。

■ハーバーハイウェイのETC化について

Q.ETC整備のスケジュール、料金体系はどう検討されているのか。

A.整備まで3年を要すると考える。料金はこれから検討するが現状は維持していきたい。

子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市会議員 吉田健吾事務所

〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456 ●JR「摩耶駅」下車、北東へ徒歩約4分

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
●●●●●●●●
yoshidakengo.jp



4年間の活動報告

ごあいさつ

皆様には日頃から格別のご厚情を賜り心から御礼申し上げます。

さて本年は平成時代最後の年となり、5月には新しい御代を迎えます。私は平成15年「市政改革に挑む36才」を旗印に初めて神戸市議員選挙に挑戦し、以来4期16年間に亘り「市政改革」を進める為に全力で活動をして参りました。

昨年神戸市において「職員組合のヤミ専従」が問題化し、長きにわたって市行政と職員組合との不適切な関係（市が進めようとする政策、また人事までもが、職員組合の影響に左右されていた実態）が明らかになりました。私はこの関係こそが「改革の本丸」と考えており、今市議会において、自由民主党神戸市議員団の仲間と共に、行政と職員組合の不適切な関係を終わらせるべくチェックオフ条例の改正を進めております。私は平成時代の内に、久元市長とともに市役所の構造改革を進め、市長、職員、議会が健全な緊張感ある関係を構築し、「神戸の未来創造」に向け一丸となって前進させる環境整備をしなければならないと考えております。

この事を「市政健全化」の絶好の機会と捉え、市会副議長としての経験を活かし残された任期を全力で「市政改革」に取り組む所存です。

本年4月には市議としての評価を受けます。この4年間の主な活動実績をご報告致しますので、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

第110代神戸市会副議長
神戸市会議員



坊 やすなが プロフィール【略歴】

昭和42年北区八多町生まれ 八多保育園卒園後
地元幼、小、中、県立神戸北高校を卒業

平成元年 佛光大学文学部卒業

同年 衆議院議員 砂田重民 秘書

平成11年 自民党兵庫県連 青年部長

平成12年 衆議院議員 公設第一秘書

平成15年 神戸市議員に初当選(現4期)

市会常任委員長、特別委員長等を経て

平成24年 自由民主党神戸市議員団 幹事長

平成25年 神戸市監査委員 議選委員

自民党政令指定都市青年議員連盟 会長

平成27年 市会運営委員会 委員長

平成28年 神戸市会 副議長

現在 観光交流都市推進神戸市議員連盟 会長
自民党神戸市支部連合会 選挙対策委員長 他

新北区役所 供用開始と今後



平成30年9月25日
新北区役所 供用開始

平成32年3月末 完成予定
駅前交通広場・幹線道路

西鈴蘭台駅・北鈴蘭台駅前 再開発へ！

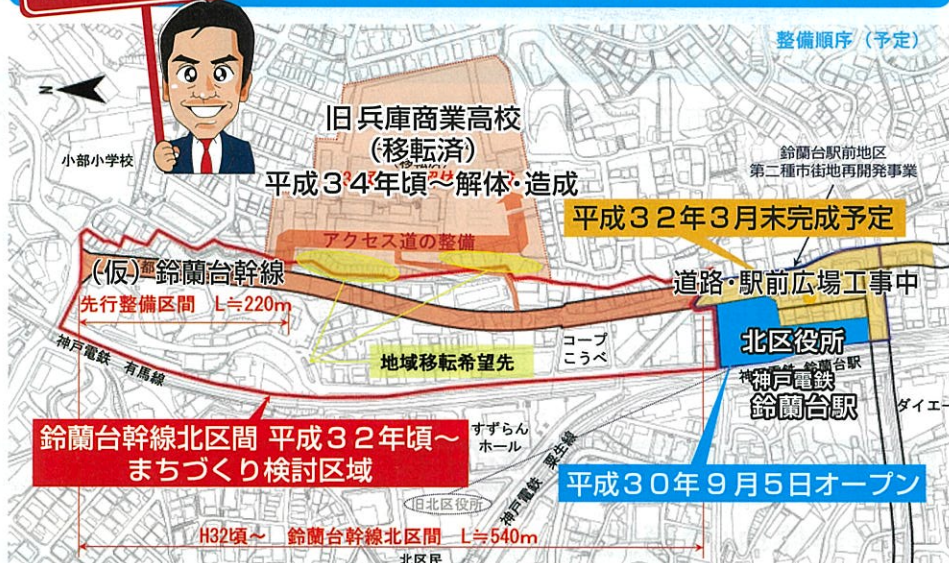


西鈴蘭台駅前再整備検討へ



北鈴蘭台駅前再開発事業
平成33年8月完成予定

着実に進行中! 鈴蘭台幹線の整備



現在、鈴蘭台駅前へアクセスする鈴蘭台幹線の整備が進んでいます。旧兵庫商業高校跡地は、鈴蘭台幹線の整備に伴う移転希望先利用や、市場性を把握する調査を実施し、地域ニーズも踏まえた学校跡地の有効活用が検討されております。

神戸市全体では約4000人、北区では、約2000人の人口が減少しています。人口流出を抑制し、移住・定住を促進するためには、建築物の高さ制限や容積率の緩和等を図りながら、駅前にマンション等の住宅や公共施設、商業施設等の機能を集め、シニア世代には利便性が良い駅周辺へ、そして若者・子育て世代には、ニュータウンなどの空いた住宅を最先端の技術やサービスを取り入れ住みたいと思える住環境に整えるなど、年齢構成のバランスのとれた街をつくっていくことが重要であると提案し、政策が進んでいます。

北鈴蘭台駅 桜の宮住宅再整備

建設工事進行中!

オールドタウンからバリアフリー・ニュータウンへ!



神戸市北区甲栄台1~4丁目

神戸北警察署

中高層住宅地区

東・中央ブロックへ入居中

北鈴蘭台駅

平成30年8月撮影

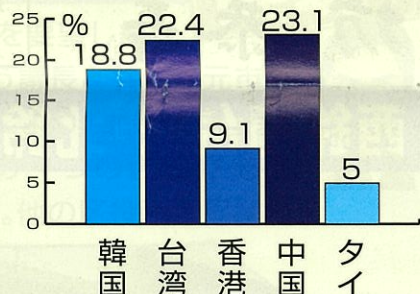
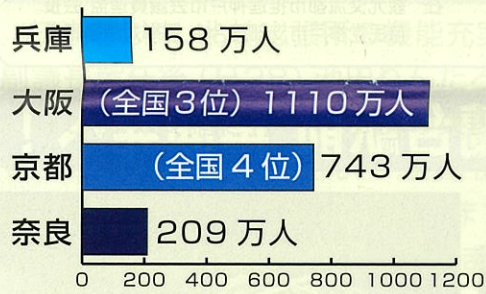
観光議連会長として台湾において観光プロモーションを提案、開催が実現！



久元市長が、市の魅力を発信してもらおうと台湾の著名プロガーを対象にした観光プロモーションを台北市内のレストランで開催。久元市長は「神戸ビーフは有名だが、おいしいシーフードもたくさんある」とあいさつ。観光名所や食材、日本酒を紹介した後、参加した約40人に実際に神戸牛や野菜、スイーツなどを食べてもらい、市長自ら特産品を売り込みました。

外国人観光客数(平成29年)

兵庫県 外国人観光客割合(平成28年)



日本のシリコンバレーを北区に「谷上プロジェクト」誘致・始動

副議長時に3度の訪米を経て現地日本企業の神戸誘致が実現しました!



神戸市では、ITを活用した成長型起業家(スタートアップ)の支援を行っています。スタートアップ支援「谷上プロジェクト」平成30年5月から神戸電鉄・北神急行電鉄の谷上駅構内にオープン。

ベンチャー企業9社が本店登記。500円のコーヒーで2時間ワーキングスペース使用可能。学生も利用可能。

米国シリコンバレーに拠点を開設!! 米国IT/スタートアップ神戸への企業誘致

スピード感を持って進めております!



今後の神戸経済の持続的な成長を目指していくためには成長型起業家を集積し、都市を成長させていくとともに既存産業との融合を図っていくことが重要であると考えます。

神戸市ではこれまで、シリコンバレーを拠点に世界50カ国1500社以上を支援するシード投資ファンド「500 Startups」をはじめ様々な起業家育成支援事業を講じていますが、全国の自治体で起業家支援が行われるなかで、神戸市が更に存在感を増すためには、効果的な施策を、スピード感を持って更に積極的に展開していく必要があります。



米国視察にて



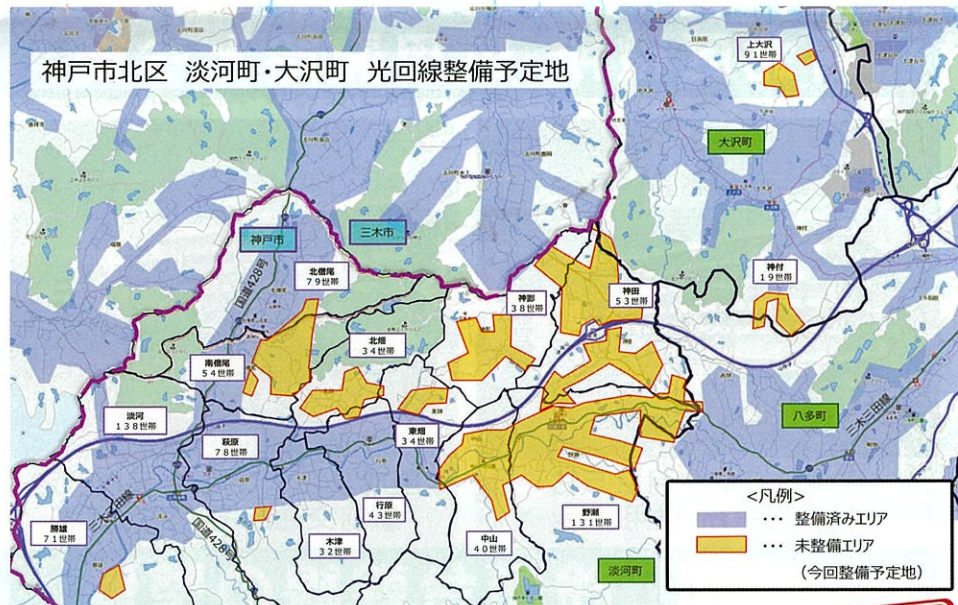
サンフランシスコ市役所

光回線整備が実現へ!!

現在、工事が完了し申し込み手続きが進行中!



初当選時より光回線未整備地区の皆様から強い要望があり、まず2年前倒しをしてLTE回線を整備することができました。そして、この度地域の皆様からの切実な要請を受け、当局との議論の結果、久元市長の英断で光回線の整備(市負担)が完了し平成31年度からサービスが開始されます。



中山間地域等直接支払制度の適用が実現

当局との政策議論の結果実現しました!

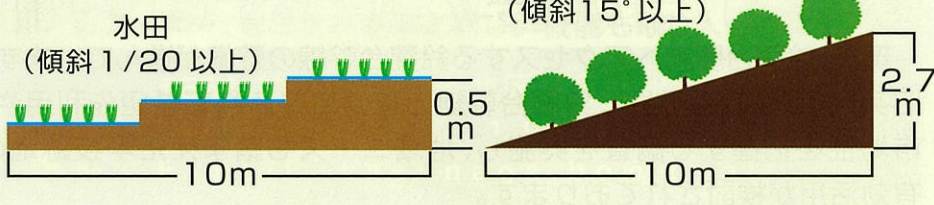


これまで大都市では適用されないと言われておりましたが、中山間地域を抱える静岡市での調査視察によって適用除外ではない事が発覚し当局に調査させた結果、中山間地域等直接支払い制度が神戸市でも適用実現します。平成31年度は対象地域調査と地元意向調査を行い、平成32年度から対象地域での支払いを見込んでいます。

対象地域 淡河町、八多町、大沢町、道場町

対象地域では概ね多面的機能支払交付金と同程度の支払いが予想されます。

交付条件地: 急傾斜地



長尾小学校区から大沢小・中学校への通学が可能へ！

当局との議論の末実現しました！



北神地域の中でも、大沢町では人口の減少が進み、小中学校の児童生徒が少なくなっています。一方、長尾小学校では児童数は今後も増えていく見込みで、大沢町・上津台の両地域から要望あり、長尾小学校区(赤松台、上津台、長尾町)在住の児童生徒については、希望に応じて平成29年度より大沢小学校・大沢中学校へ就学できるようになり、大沢児童館では「放課後児童クラブ」(学童保育)が開設され、延長利用希望を出せば、午後7時まで利用可能になりました。

また、遠距離通学となる児童生徒の安全安心な通学手段のために、平成30年4月から神姫バス(13系統)のダイヤが改正され、行き帰りの時間帯に児童生徒がバスを利用できるようになりました。

小・中学校の遠距離通学者助成の全額補助へ

実現！

長年取り組んで参りました市立小・中学校の遠距離通学者への通学費助成が全額補助へととなりました。

(平成27年度)1/2補助 → (平成30年度)全額補助に拡充



八多町コミュニティバス(はたっこバス)の本格運行



公共交通機関を利用した通学の様子

地域コミュニティバス・タクシー支援事業

当局との政策議論の結果実現・前進しています！



- 八多町コミュニティバスの本格運行を支援
- コミュニティバスの試験運行など、地域の主体的な取組みを支援

高校生通学費助成実現へ

高校生通学負担軽減に向け更に頑張っており参ります！

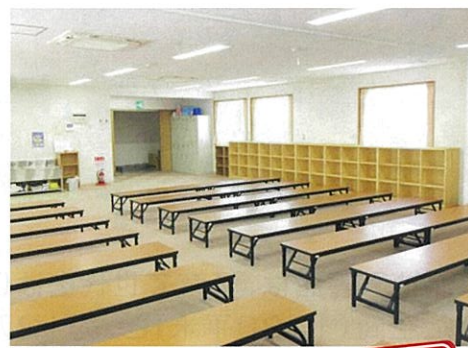
北神急行・通学定期券購入費の一部を助成

長尾学童保育コーナーを菅生公園へ移転(使用時間外は公民館的な機能も)

地域の要望を実現しました！



長尾小学校の児童数の増加に伴い、小学校内での学童保育コーナーを高学年を含む学童保育を希望する全ての児童に対応できるよう、平成30年から長尾小学校に隣接している菅生公園内に学童保育施設を整備し移動しました。今後まちづくりの視点から、自治会館としての機能も要望し実現しました。



消防団条例一部を改正

地域要望により実現します！！

緊急対応団員制度を導入し、平日昼間に災害出動できる団員を入団させ災害対応力を向上させる。長期出張や病気、育児等のため、一定期間に限り活動を休止させる(休職・休業)制度を創設する。市長の決断により団員の年報酬が、大幅に上乗せされ支給されるようになりました。

平成31年度から淡河連絡所に係長配置実現！

地域の発展のために各連絡所への職員配置に向け頑張っております！



地域の中心である連絡所の活性化とまちづくり政策を積極的に進めていく「まちづくりの専門職」が必要だと提案して参りました。この度、淡河連絡所に係長級職員を配置することが実現します。

北農業振興センター拡充新設！

北農業振興センターで強化する主な業務

- 生産振興:FFP 実証事業を生産者へ導入、道の駅直売所に伴う拡大
- 有害鳥獣対策の強化:猟友会神戸北支部及び有馬支部との連携強化
- 里づくり・里山暮らしの取組強化
- 就農・営農相談窓口の実施
- 農委の諸証明・届出の受付交付

西センターとの統合から一転北農業振興センターを拡充・新設を実現させる事が出来ました！



市街化調整区域指導課

- 土地・建物利用の推進の観点から、農村地域を含めた市街化調整区域の開発許可等事務の一部を建設局防災部宅地開発指導課から移管

現在 取り組んでおります！

神戸ビーフ館を六甲山牧場に誘致し知名度、集客能力のある「道の駅」整備を

平成31年度から六甲山牧場で但馬牛の飼育・展示が始まります



ビザの緩和によって一気にインバウンド(訪日外国人旅行)客が増えた。世界的コンテンツである神戸ビーフを前面に出していくことが、神戸にとって非常に重要だと考え、兵庫県がオープンを予定している神戸ビーフ館を六甲山牧場に誘致し、さらに国内知名度、集客能力のある「道の駅」を組み合わせ整備して頂きたいと思っています。また、六甲山牧場を有効活用し、観光客が牛自体を見れる場所づくりや、但馬牛の供給を増やすために繁殖等を神戸市がやっていく事が重要だとの思いで、実現を目指しております。

コスト高のプラスチックの収集をやめて、ごみ発電の燃料として使用すれば、逆に収入が増えるのでは

行財政改革を更に進めて参ります！



容器包装プラスチックは市民が分別し、それを環境局が取りに行き、3箇所の中継地に委託民間業者が取りに来て、リサイクルを行っている。しかし、このプラスチックの約2割はリサイクルされているが、あとはアンモニアとなったり、燃料として燃やされている。

この政策コストには、結局10億円ぐらいは掛かって、最終的には燃やしてしまうと考えると効率的な政策ではありません。

神戸市のごみ処理場は、ごみ発電機能が備わっているため、容器包装プラスチックの分別をやめて、一般ごみとプラスチックを燃料として燃やして発電し売電すれば、逆に収入が増えるのではないかと考えます。



現在のプラスチックリサイクル率23%だと、効率的ではない。



容器梱包プラスチックを分別せずに、燃えるゴミとして熱・エネルギー回収→発電→売電した方が効率的では！

北神急行線と市営地下鉄の 一体的運行の検討により運賃低減へ

北神急行の運賃低減
実現に向け進行中!



北神急行線は、人口減少社会・高齢社会を迎える状況の中、このインフラを安定的に運行し、利用者利便性の向上を図ることが、北区・北神地域の更なる魅力向上に繋がるものであるとの認識のもと、地下鉄西神・山手線と一体的に運行することを提案。

現在久元市長の英断によって北神急行の運賃(三宮駅～谷上駅間で540円)の引き下げのために、市と阪急電鉄が協議を進めております。



北区からの鉄道路線の 運賃低減に向けて

運賃低減粘り強く
頑張ってます!!



北区においては、神戸電鉄を利用して三宮以東に行く場合には、神戸高速線や阪急神戸線を同一企業グループが運行しているにも関わらず、路線ごとに初乗り運賃が発生して高額な運賃となっています。

運賃低減に向け引き続き、頑張ってます。

例: 神戸電鉄 鈴蘭台駅 — 湊川駅 — 新開地駅 — 神戸三宮駅 — 王子公園 (大人) 350円 + 150円 + 150円 = 合計 650円

乗継=初乗り運賃 乗継=初乗り運賃

北神区役所 全国初 1区に複数区役所へ

実現!



初当選以来、北神出張所の機能充実を要望し続け副議長就任後(H28)池田りんたろう議長と共に久元市長に対し強く要請を行い、市長の英断により「北神支所」へ、そして平成31年4月より全国初の一つの区に複数の区役所、「北神区役所」が誕生します。他の区役所と同様のサービスが受けられるようになりました。

北区の各機関の 位置関係図

北区の面積は
神戸市の約43%
を占めます。



北区役所新庁舎



北区役所と北神支所は電車で約30分かかるほど離れており、北神地域の住民が日常的に北区役所を利用することは難しい状況にあることから「北神区役所」として設置することになりました。



現在		H31年4月～
北神中央ビル	5階 北図書館 4階 北神分館 2階 北神支所	北神区役所
エコー・リラ	南館 商業施設 4階	
		北神図書館

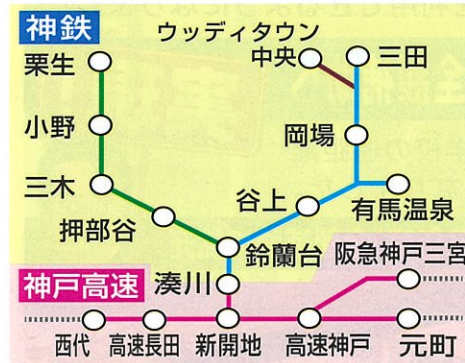
神戸市シニア利用促進パス 「神鉄シーパスワン」を拡充

神鉄シーパスワンを
実現し、更に充実さ
せました。



敬老バスや福祉バスは、市内を走る市バス・民営バス、市営地下鉄、新交通で利用できるものの、神戸電鉄、高速神戸線、私鉄では、多額の設備費が掛かるため利用できませんでした。

久元市長へ強い要望を行い、市長の英断により平成27年度から「神鉄シーパスワン」の試験的に導入出来ました。利用促進や高齢者の外出増加による地域活性化などへの効果を検証することになり、平成27年度「神鉄シーパスワン」社会実験開始、その後平成28年度「神鉄シーパスワン Plus」神戸高速鉄道も利用可能になり、平成30年度は「月販売枚数4枚限りを5枚へ拡充」と充実させることが出来ました。



神鉄シーパスワン利用エリア

地下鉄西神・山手線と阪急神戸線 との相互直通運転の調査・検討へ



全国初、民設民営の道の駅 誕生!

実現!



平成29年3月に道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢(おおぞう)がオープン致しました。「道の駅」については、9年越しの要望で実現致しました。この道の駅は、日本で初めて地域の商店や企業が出資し、まちづくり会社をつくり その会社が、今回「国土交通省による“重点道の駅”」競争の中で選ばれ、地域の方が地域の財産として運営していく道の駅となり、当初から考えてきた全国初となる「民設民営 道の駅」を実現することができました。地域力の強化こそが神戸の未来を創ります。



初年度150万人を集客!



平成31年5月に北神図書館オープン

実現!



北神図書館は、子育て世代をはじめ誰もが集うゆとりある落ち着いた空間(1320平米)と、約12万冊蔵書数の大規模な図書館にリニューアルされ、気軽に本と触れ合える「ブックラウンジ」やWi-Fiが使えるコーナー、セミナー室など新しい機能も取り入られます。

お問い合わせ・あらゆるご相談は
神戸市議員 坊やすながまで

坊やすながまで

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
E-mail yasunaga.bo@gmail.com